

[創造][充実][発展] 高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～ 笑顔と感動のあふれる大渦中 ～



サルビア

大渦中学校
学校だより
NO.5 R7.12.25
文責

2025年 たくさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます

2025年も残すところあと1週間となりました。生徒の皆さん、保護者の皆様にとって今年はどうな1年だったでしょうか。先日発表された今年の漢字は「熊」でした。県内各地がクマに翻弄された1年でした。クマによる騒動もようやく一段落となったようではありますがまだまだ油断は禁物です。

さて、2025年を振り返ると、1学期に行われた修学旅行、宿泊学習、校外学習などの楽しい行事がたくさんありました。また、体育祭で各組が競い合いながらも全校生徒が一丸となって汗を流す姿、野球部や卓球部の全県大会出場など、生徒が様々な場面で活躍する姿がありました。

2学期が始まって間もない時期に行われた大中祭、暑い中、そして短い準備期間ではありましたが、合唱や吹奏楽部の演奏など、みんなが心一つにして頑張りました。特に、数年ぶりに行われた全校合唱は聴き応えのあるものでした。

また、11月には台湾からの交流団を、全校を上げてお迎えし、言葉の壁を越えて交流するなど貴重で有意義な時間を過ごしました。来月は本校生徒15名が台湾を訪問する予定です。

これらの行事を通してそれぞれの生徒が成長しました。また、保護者や地域の皆様のご協力や応援は生徒一人一人を支える確実な力となっています。本当にありがとうございました。

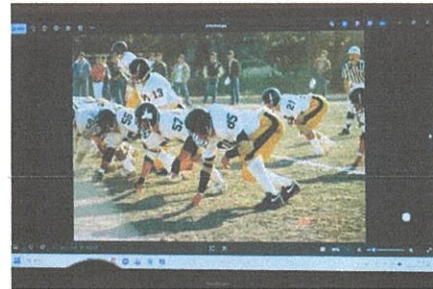
2026年が皆様にとって、よき一年となることをお祈り申し上げます。職員一同、生徒の成長を保障する教育活動を積み重ねてまいります。今後とも、大渦中学校へのご支援をよろしくお願いたします。

令和7年度 大渦中学校同窓会講話会

後輩たちへの贈り物～私の追いつけた夢～ Vol.18

11月27日(木)に第18回を迎える大渦中学校同窓会「講話会」を開催しました。大渦中学校には村内外で活躍するたくさんの方の卒業生(同窓生)がいます。今回は大渦村村議会議員の大井圭吾氏を講師に迎え、「人の声に耳を傾け、自分の価値観で行動を」という演題で、講演をしていただきました。

大井氏からは、学生時代やアメリカでの経験をもとに外から見た大渦村、秋田、日本についてお話ししていただきました。様々な価値観をもつ人々の中での自分の在り方や「最終的な判断は自分で下す」ことなどの重みのある言葉をお話しいただき、生徒たちの心にも強く響いているようでした。講話後の質疑応答の場面では、生徒から質問が出されましたが、分かりやすく、丁寧に答えてくださいました。今回の講話会を企画し、運営してくださった佐藤忠浩同窓会長をはじめ、同窓会役員の皆様には深く御礼申し上げます。



◆◆◆◆◆ 同窓会 講話会 生徒の感想 ◆◆◆◆◆

3A さん
「最終的な判断は自分で下す」この言葉が受験生である自分の心に深く刻み込まれました。私は昔から他人の意見に左右されることが多く、どうしても自己決定をする勇気が出ませんでした。ですが、大井さんの話を聞き、自分の意志決定をする自信が少しついた気がします。私はこれから最も大事な期間の12月(冬)に入り、受験勉強もいよいよ終盤にさしかかってくるので勉強などに生かしていきたいと思います。

3A さん
アメリカに行って価値観が変わったということに衝撃を受けました。住んでいる国を離れて、海外に行くことで自分が住んでいた日本を見つめ直す機会になるんだろうなと思いました。大井さんがお話ししていた「日本のことを誇りに思いたい」という言葉はアメリカで過ごしたことで感じたんだと思いました。私も将来、機会があったら海外に行きたいと思いました。

2A さん
「外国に行くことと日本人だということに誇りに思う」「外国に行けばいろいろな人がいて、日本とは違う文化に触れることができ、自分が日本人であることを改めて感じる」と大井さんは話していました。今度台湾に行くときに、いろいろな考えを学んでみたいです。
大渦村の外でいろいろな経験を積んでから大渦村の村議として大渦村に貢献してるところを見習いたいと思います。大井さんのお話を今後の生活に役立てたいと思います。

1A さん
「同じ場所(アメリカ)で、同じ日本人が活躍していると誇らしい(イチローさんのこと)」を聞き、自分も誇らしいと思われる日本人になりたいと思いました。「不確かな報道」「間違った報道」がある中、しっかりと根拠をもたなければならぬこと、すべての報道を信じると、間違った情報が入ってしまうことがあるかもしれません。「それ本当?」と思うことも大事だとわかりました。
大井さんの話を聞いて、将来の視野をより広くすることができました。「まず行動する」を意識して今後も頑張りたいと思います。

1A さん
大井さんの話を聞いて心に残っていることは「どうせやるなら楽しくやる」という言葉です。ただやるだけだと楽しくないし、大井さんはアメフトを全力で楽しんでやっていたんだと思います。僕も今後「どうせやるなら楽しくやる」を何事にも生かしていこうと思いました。

3A さん
今回の大井さんのお話を聞いて、心に残った言葉は二つあります。一つ目は「他人は他人、自分は自分」。大井さんがアメリカに行ったときに、日本のことをあまり知らない人がいるなど、価値観の違いを感じたと聞きました。この言葉を聞いて、私も価値観の違いや人間関係などで悩んだときに活かしたいと思いました。二つ目は「アメリカも日本も何かに対する『態度』、『姿勢』、『振る舞い』は世界共通だった」です。言葉が通じなくても人として大切にしなければいけないことをしっかりとすることで評価につながるということを感じました。人の話をきちんと聞くことを大切にしていきたいと思います。

3A さん
心に残った言葉は、「他人の話や意見を聞いて、最後は自分で判断して、行動に移し、判断するためには、人の話をしっかり聞く」ということです。私は私生活で人に言われたことをそのまま行動に移してうまくいかないことがあります。人の話をしっかり聞いた上で、自分の意見を出すことが大切とわかりました。これからは人の話を聞く中で、常に自分の考えをもったり、正しい判断をしたりできるようにしていこうと思いました。

2A さん
「アメリカに行って日本人としての意識をもった」という話が心に残りました。私たちが思っている以上に、外国人は日本のことを知らなくて、日本にいれば当たり前のごとでふだん感じないことや、外から見て気付くことがたくさんあると思いました。アメリカでしか見られないもの、感じられないことがあると思ひ、アメリカに興味をもちました。

2A さん
「分からないことはしっかり聞く」、そして「直感的に行動を自分で考えることが大切」、という言葉が私の心に残っています。「分からないことを自分でずっと考えるより他の人に聞いた方がよい」ということに共感し納得しました。
大井さんは、中学校の時、理科の授業をサボったことで定期テストでまったく解けなかったことがあったそうです。自分で「自業自得」とお話ししていました。私も定期テストにはしっかりと準備して臨みたいと思いました。
また自分の憧れで東京の大学に進学したとのことでした。私はまだこの高校に行きたいとはありません。そのような進路についての憧れをもった方が将来の生活が楽しくなりそうだと感じました。

